



2025 年度 授業コード：13102100

DP1	-	DP2	○	DP3	○	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	T031206J
学習課題（予習・復習）										1回の目安時間（時間）	
授業で配布された資料をもとに復習し、興味・関心や疑問点を整理しながら授業内容を把握する。										4	
授業計画											
第1回	テーマ：ガイダンス 授業概要を説明する。										
第2回	テーマ：コミュニケーションとは何か1 コミュニケーション理論の基本を学ぶ										
第3回	テーマ：コミュニケーションとは何か2 「お笑い」「食文化」などを題材としてコミュニケーションを考え、議論する。										
第4回	コミュニケーションとは何か3 「観光地」「商業施設」などを題材にコミュニケーションを考える										
第5回	メディアコミュニケーションを学ぶ1 「ニュース」の基本概念 「ニュース」と影響										
第6回	メディアコミュニケーションを学ぶ2 ジャーナリズムと法律 報道と自由										
第7回	テーマ：デジタル・コミュニケーションを学ぶ1 デジタルメディアとニュース ニュース普及プロセスと影響										
第8回	テーマ：デジタル・コミュニケーションを学ぶ2 放送・インターネットと表現 ソーシャルメディアと表現										
第9回	テーマ：振り返りと小テスト										
第10回	テーマ：外部講師とディスカッション1 メディア実務者（外部講師）による講義とディスカッション （レガシーメディアについて）										
第11回	テーマ：外部講師とディスカッション2 メディア実務者（外部講師）による講義とディスカッション （SNSについて）										
第12回	テーマ：プレゼンテーション1 学生によるプレゼンテーションとディスカッション （前半グループ）										
第13回	テーマ：プレゼンテーション2 学生によるプレゼンテーションとディスカッション （後半グループ）										
第14回	テーマ：授業総括 授業のまとめ										

第 15 回	テーマ：授業総括 2 レポート課題について
テキスト	プリントを事前に配布する。
参考図書・ 教材／データ ベース・ 雑誌等の紹介	必要に応じて参考文献は紹介するが、新聞（一般紙あるいは経済紙）の購読を薦める。
課題に対するフィード バックの方法	第 1 回授業で指示するが、授業中の発言、課題発表内容等によって評価する。課題に対するフィードバックは、講義の際に口頭、もしくは授業コメントシートに記入して返却するなどして実施する。
学生へのメッセージ・ コメント	<p>本科目は、社会生活と様々なメディアの関わりを学修するため、極めて学際的な（幅広い）学問領域の科目として位置付けられる。そのため日々の生活の中で様々なメディアに接することが望まれる。特に、社会の現状、事象を把握するための新聞購読やニュース番組視聴が欠かせない。新聞（一般紙・経済紙）購読および各メディアニュース番組視聴が本授業履修の基本となる。また、ある 1 つの事象がメディアによって取り上げ方、あるいは論調・解説の違いが見られることからメディアによってなぜ、どのように違うのかを普段から意識して様々なメディアに接すること。</p> <p>本科目は、発表及びディスカッションを主体に運営進行していくため、事前の丹念な予習・準備を必要とすることを十分に認識して履修登録すること。</p>

